

令和8年産(7年播種) 麦類生育概況

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:しろゆたか		
		平年*1	令和7年(播 ~8年(産))	平年比	平年*2	令和7年(播 ~8年(産))	平年比
出芽揃い期	出芽数 本/m ²	160	182	114%	177	189	107%
越冬前 (12月15日)	草丈 cm	12.8	13.4	105%	14.2	14.1	100%
	茎数 本/m ²	483	555	115%	690	698	101%
	葉数	4.5	4.6	+0.1	5.1	5.0	-0.1
越冬後 (3月1日)	草丈 cm	14.1	9.8	70%	17.5	15.7	90%
	茎数 本/m ²	1099	760	69%	1345	828	62%
	葉数	7.3	6.6	-0.7	7.5	7.2	-0.3
(3月15日)	草丈 cm	17.2	15.4	89%	19.9	25.9	130%
	茎数 本/m ²	1059	887	84%	1295	1170	90%
	葉数	8.3	8.1	-0.2	8.3	8.0	-0.3
幼穂形成期 茎立期		2月22日	3月1日	+7	3月1日	3月5日	+4
		3月24日	3月27日	+3	3月24日	3月16日	-8
出穂期		4月26日			4月28日		
成熟期		6月4日			6月13日		
成熟期	稈長 cm	93			85		
	穂長 cm	4.6			8.5		
	穂数 本/m ²	489			623		
収量	子実重 kg/a	71.3			68.6		
	容積重 g/l	692			802		
	千粒重 g	37.6			43.4		

*1 大麦の平年値は過去7年間における収量最大年と最小年を除いた5カ年の平均値。

*2 しろゆたかは令和3~令和7年産の5年間の平均値。令和7年産の子実重は収穫方法が異なるため平年値から除外した。

<耕種概要>

栽培様式: 条間30cmドリル播

播種期: 令和7年10月22日 播種量: 7kg/10a

基肥窒素量: 6kg/10a

<生育概況>

出芽揃い期 播種後に大雨となり湿潤状態が続いたが、大麦、小麦ともに出芽数は平年並みであった。

越冬前 草丈、茎数、葉数ともにほぼ平年並みである。播種後の気温がほぼ平年並みで推移したためと考えられる。

越冬後 3月1日時点の平年対比では、大麦小麦ともに草丈は短く、茎数は少なく、葉齢は遅れている。2月上旬までほぼ平年並みの気温で経過したことで、高温傾向だった近年の生育進度より遅れたと考えられるが、越冬後における茎数としては適正本数である。

3月15日時点の平年対比では、大麦及び小麦とも草丈及び茎数で前回調査より平年比が高くなっており、特に小麦は茎立期を迎えているため草丈は平年を大きく上回っている。

幼穂形成期は平年より遅いが、小麦の茎立期はかなり早くなった。大麦の茎立期は平年よりやや遅いが、幼穂形成期よりは生育速度が速まっている。これは3月中旬に以降高温傾向だったことで生育が進んだためと考えられる。

(別表) 気象経過

長野アメダスデータより

